

平成 18 年度ホタテガイ採苗情報（第 4 報）

平成 18 年 5 月 18 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝数が増加しています。」

1 ラーバの出現状況

5 月 17 日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長 200 μm 未満が 31 個/トン、200 μm 以上が 93 個/トンでした。前回調査時（合計 183 個/トン）同様、大型個体を主体にラーバは多数出現しています。

調査時の水深 10m 層の水温は 7.7 $^{\circ}\text{C}$ と、前回調査時より 0.5 $^{\circ}\text{C}$ 低下し、平成 9～17 年の平均値(9.3 $^{\circ}\text{C}$)より 1.5 $^{\circ}\text{C}$ 低い値になっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5 月 9 日以降の調査において、宮古と釜石および大船渡地区の各調査点で付着稚貝が確認されました。各調査点の付着数は 1～351 個/袋でした。

釜石地区の唐丹湾をはじめ、各地区で付着数が増加しています。

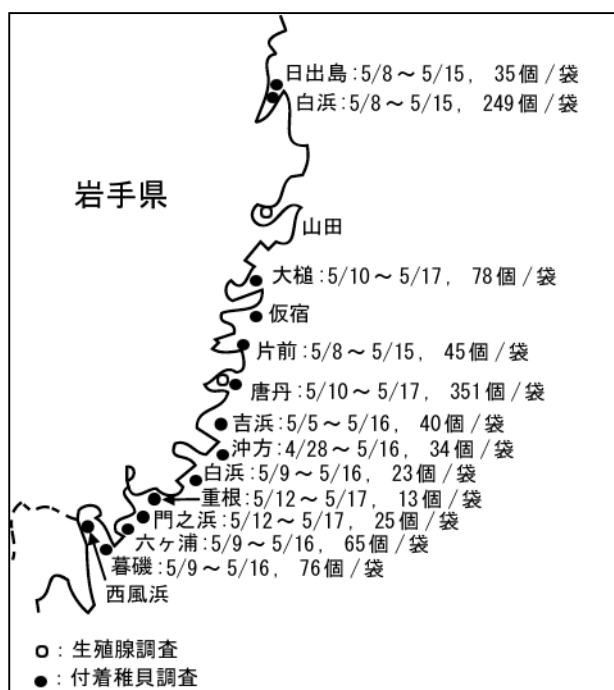


図 調査点と付着稚貝調査結果

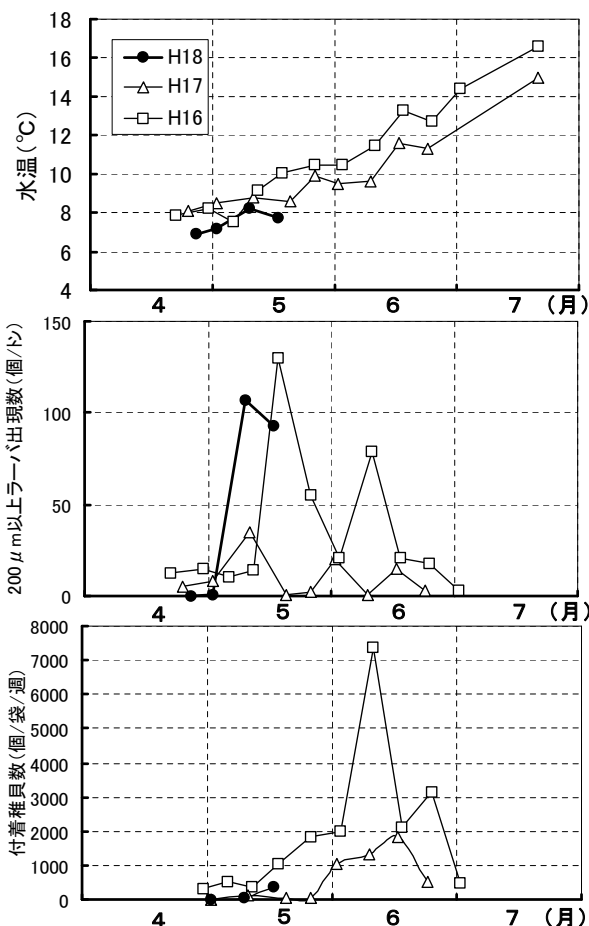


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 8 割が付着直後の個体でした。

県中部以南では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、5 月 25 日に発行する予定です。